

日本標準商品分類番号	
872616	
承認番号	21900AMX01317
薬価収載	2007年12月
販売開始	2007年12月
再評価結果	1982年8月

貯 法：室温保存

使用期限：3年（ラベルに表示の使用期限を参照すること。）

殺菌消毒剤（逆性石ケン液）

チアミトール®消毒用液50% GERMITOL Disinfectant Solution 50%

日本薬局方 濃ベンザルコニウム塩化物液50

【組成・性状】

- 組成 ベンザルコニウム塩化物 50.0超～55.0%
- 性状 無色～淡黄色の液又はゼリー様の流動体で、特異なおいがある。
水又はエタノール(95)に極めて溶けやすく、ジエチルエーテルにほとんど溶けない。
本品に水を加えた液は振ると強く泡立つ。

【効能・効果】 【用法・用量】

効能・効果	用法・用量	本品希釈倍数
手指・皮膚の消毒	通常石けんで十分に洗浄し、水で石けん分を十分に洗い落した後、ベンザルコニウム塩化物0.05～0.1%溶液に浸して洗い、滅菌ガーゼあるいは布片で清拭する。術前の手洗の場合には、5～10分間ブラッシングする。	500～1000倍
手術部位（手術野）の皮膚の消毒	手術前局所皮膚面をベンザルコニウム塩化物0.1%溶液で約5分間洗い、その後ベンザルコニウム塩化物0.2%溶液を塗布する。	0.1%：500倍 0.2%：250倍
手術部位（手術野）の粘膜の消毒、皮膚・粘膜の創傷部位の消毒	ベンザルコニウム塩化物0.01～0.025%溶液を用いる。	2000～5000倍
感染皮膚面の消毒	ベンザルコニウム塩化物0.01%溶液を用いる。	5000倍
医療機器の消毒	ベンザルコニウム塩化物0.1%溶液に10分間浸漬するか、または厳密に消毒する際は、器具を予め2%炭酸ナトリウム水溶液で洗い、その後ベンザルコニウム塩化物0.1%溶液中で15分間煮沸する。	500倍
手術室・病室・家具・器具・物品などの消毒	ベンザルコニウム塩化物0.05～0.2%溶液を布片で塗布・清拭するか、または噴霧する。	250～1000倍
腔洗浄	ベンザルコニウム塩化物0.02～0.05%溶液を用いる。	1000～2500倍
結膜囊の洗浄・消毒	ベンザルコニウム塩化物0.01～0.05%溶液を用いる。	1000～5000倍

【使用上の注意】

- 重要な基本的注意
 - 原液又は濃厚液は刺激症状があらわれることがあるので、皮膚・粘膜に付着しないように注意すること。また、眼に入らないように注意すること。原液又は濃厚液に接触した場合には直ちに水でよく洗い流し、適切な処置を行うこと。
 - 本剤は必ず希釈し、濃度に注意して使用すること。
 - 炎症又は易刺激性の部位（粘膜、陰股部等）に使用する場合には、濃度に注意して、正常の部位に使用するよりも低濃度とすることが望ましい。また、使用後は滅菌精製水で水洗すること。
 - 深い創傷又は眼に使用する希釈水溶液は、調製後滅菌処理すること。
- 副作用
本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。
過敏症：発疹、そう痒感等の過敏症状（頻度不明）があらわれることがあるので、このような場合には使用を中止すること。
- 臨床検査結果に及ぼす影響
本剤で消毒したカテーテルで採取した尿はスルホサリチル酸法による尿蛋白試験で偽陽性を示すことがある。
- 適用上の注意
 - 人体
 - 投与経路：経口投与しないこと。浣腸には使用しないこと。
 - 使用時：
 - 粘膜、創傷面又は炎症部位に長期間又は広範囲に使用しないこと（全身吸収による筋脱力を起こすおそれがある）。
 - 密封包帯、ギプス包帯、パックに使用すると刺激症状があらわれることがあるので、使用しないことが望ましい。
 - その他
 - 調製方法：
 - 希釈液として塩類含量の多い水又は硬水を用いないこと。
 - 繊維、布（綿、ガーゼ、ウール、レーヨン等）は本剤を吸着するので、これらを溶液に浸漬して用いる場合には、有効濃度以下とならないように注意すること。
 - 使用時：
 - 血清、膿汁等の有機性物質は殺菌作用を減弱させるので、これらが付着している医療器具等に用いる場合は、十分に洗い落とししてから使用すること。
 - 石けん類は本剤の殺菌作用を減弱させるので、石けん分を洗い落とししてから使用すること。

- ウ. 皮膚消毒に使用する綿球、ガーゼ等は滅菌保存し、使用時に溶液に浸すこと。
- エ. 合成ゴム製品、合成樹脂製品、光学器具、鏡器具、塗装カテーテル等への使用は避けることが望ましい。
- オ. 金属器具を長時間浸漬する場合は、腐蝕を防止するためにベンザルコニウム塩化物0.1%溶液に0.5～1.0%の亜硝酸ナトリウムを添加すること。
- カ. 皮革製品の消毒に使用すると、変質させることがあるので使用しないこと。

【薬効薬理】^{1)~4)}

1. 本剤は使用濃度において、栄養型細菌（グラム陽性菌、グラム陰性菌）、真菌等には有効であるが、結核菌及び大部分のウイルスに対する殺菌効果は期待できない。
2. 作用機序は、陰電荷を帯びる細菌に陽電荷を帯びるベンザルコニウム塩化物が菌体表面に吸着・集積され、菌体たん白を変性させ殺菌作用をあらわす。
3. ベンザルコニウム塩化物は陽イオン界面活性剤であるので、表面張力を低下させ、清浄作用、乳化作用等を示す。

【有効成分に関する理化学的知見】

一般名：ベンザルコニウム塩化物 (Benzalkonium Chloride)

化学名：Ammonium, alkyl dimethyl (phenylmethyl)-, chloride

構造式：[C₈H₅CH₂N(CH₃)₂R]Cl

R=C₈H₁₇～C₁₈H₃₇（主としてC₁₂H₂₅及びC₁₄H₂₉）

性状：白色～黄白色の粉末又は無色～淡黄色のゼラチン状の薄片、ゼリー様の流動体若しくは塊で、特異なにおいがある。
水又はエタノール（95）に極めて溶けやすく、ジエチルエーテルにほとんど溶けない。
本品の水溶液は振ると強く泡立つ。

【包装】

500mL

【主要文献】

- 1) 高木敬次郎他：薬物学，653（1984）
- 2) 羽野 壽他：新しい薬理学，第2版，363（1983）
- 3) 吉村正一郎他：医薬ジャーナル，21(6)，67（1985）
- 4) 熊谷 洋他：臨床薬理学大系，第14巻，120（1966）

【文献請求先】

丸石製薬株式会社 学術情報グループ
〒538-0042 大阪市鶴見区今津中2-4-2
TEL.0120-014-561

製造販売元

 丸石製薬株式会社

大阪市鶴見区今津中2-4-2